

肢体不自由ママ・パパのためのピアサポート



しゃべり場



ピアサポートとは・・・

「Peer（ピア）＝仲間」＋「Support（サポート）＝支える」活動のことです。

肢体不自由の方の子育てを支援するため、子育ての不安や悩みを仲間と共有し、共に考えサポートする場を実施しました。

- ★日時 令和8年3月21日（土）12時30分～15時
- ★場所 ショーグズステーキ日進店
- ★対象 肢体不自由で子育てをしている方
- ★参加者 6名（＋幼児1名＋中学生1名＋付き添い2名）



◎今回のしゃべり場で出た話題は？

☆ 美容院や歯医者で困ることはないですか？

- ・ 移乗が課題になる。
- ・ 足がつかなくて、体勢を保てないことがある。
- ・ おしゃれな店だと、シャワー台に肘かけがなくて、よじ登れない時がある。
- ・ 通っていると店の人が、できることと、手伝うことを理解してくれる。

☆ 外食や旅行はどうしていますか？

- ・ 事前に電話をしておく、入りやすいところを準備してもらえることがある。
- ・ 段差があっても、コックさんまで出てきて運び入れてくれた。
- ・ グーグルアースで準備していくが、店内までは分からない。事前に電話して「段差はありません」と言われても、行くと段差があったりする。健常者には段差を思えないところも障壁になる。
- ・ 年に何回も行くところがあって、理解してもらえているから行きやすくなっている。
- ・ サポート付きのお宿「サポートイン南知多」に泊まっている。快くサポートしてくれる。

☆ 買い物や外出時の駐車場利用で困りごとはないですか？

- ・ コインパーキングを利用時に、出るまでに時間がかかり、追加料金になってしまうのでサポートデスクに連絡が必要。
- ・ コインパーキングで、ロック版タイプのところだとちょうど降りるところがふさがれてしまうので、少し前に止めている。邪魔にならないように端に止めるようにしていて、何か所か候補を探してからいく。

☆車いすの買い替えのタイミングをどうしていますか？

- 買い替えの年数は6年から可能になっているけど、今のものを使えるのではないと言われる。特にコロナ禍の時は強く言われた。
- 県が違くと申請の方法が全く違った。また担当者が変わると違うことを言われたり、戸惑うことが多かった。
- 前の処方箋がなくて、新しく作った物が転倒の危険があるものになってしまった。慣れるために早めに準備をしていく必要がある。
- 当事者の方がやっている業者さんに頼むことが、一番わかってもらいやすい。また自分が忘れていたことも気が付いてやってくれたりする。

◎来年度の開催について今後の活動について

- 来年度も3か月に1回、第3土曜日の午後1時30分～3時 日進市障害者福祉センター小会議室で開催
- 来年度は定期開催時から学生ボランティアさんに来てもらい、あきてしまう子どもたちの相手をお願いしていく。
- 来年度の3月に交流企画としてボランティアを含めたお出かけイベントを計画する。
第一候補：モリコロパーク
ピクニックを実施し、雨天時はセンターで食事を持ち寄る。

※ 次回の『しゃべり場』は、令和8年6月20日（土） 午後1時30分～3時